

鳥甲山山行報告

【山城】長野県栄村・鳥甲山（2038m）

【日程】2015年10月18日（日）・晴れ

【メンバー】CL 菊池、SL 加藤、澤田淳子、小俣(記)

【行程】貉平登山口（1030m）7:00－稜線に出る 8:00－万仏岩 8:40－白崑の頭 10:20～25
－鳥甲山山頂 12:05～25－万仏岩 15:20～30－登山口駐車場 16:03



紅葉で有名な鳥甲山と麓の温泉に行ってみたくて以前より思っていました、交通の便の悪さで今まで登れていませんでした。今回、乗鞍岳中止に伴い、メンバーと念願の鳥甲山



に行ってきました。

前夜は六日町に宿泊したので、4:30には出発して登山口のある秋山郷に向かう。予定通り 7時前に貉平登山口に到着、早や4～5台車が止まっている。駐車場の関係で貉平からのピストン登山になる。

出発するとすぐに濃いピンクのマユミの実が登山道の傍らに迎えてくれる。秋だな

～ ウォーミングアップに急がず穏やかに稜線までの道を登る。稜線に出ると志賀方面の



万仏岩 核心部の絶壁

展望が開けてくる。後方より 30 人の団体さんに追いかかれ、万仏岩の岩場は一足先に通過する。ここからは、苗場山・佐武流山・岩菅山 etc の展望、本命 鳥



苗場山を望む

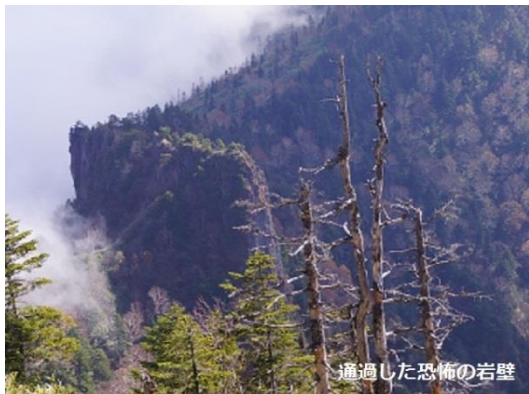
甲山の岩壁と紅葉を楽しみながら高度を上げていく。全体的に痩せ尾根の登山道を登る。こちらの岩壁は白っぽい岩で「白嶺」と呼ばれ、対面に見える岩壁は赤っぽく見え「赤嶺」と呼ばれているとのこと。下から見ると一見山頂のように聳え、急勾配の先にある「白嶺の頭」はさしずめニセ鳥甲山頂だと言いながらたどり着く。一旦下り、「カミソリ岩」などの細尾根を通過、登り返して山頂へ。登りごたえのある山でした。



岩壁上の狭い登山道



崩落気味の割の刃?



通過した恐怖の岩壁

山頂は今一つ展望がなく、20 人ほどの団体さんが先着して満員でした。団体は新潟の山岳会(会員数約 400 名)の方で、菊池先生は共通の友人がおられることが分かり話はずんでおられました。私達はお隣になった方から「ミズの実」をごちそうになりました。皆さんは縦走で「屋敷 口」へ下山とのこと、我々はもと来た道へ



山頂での記念撮影

下山。

白嵩～頂上間は一部湿地のようなところがあり、行き(道は下り)はジュークジュークの道で嫌だと思っていたが、帰り(道は上り)はキノコの道と気づき「ブナハリタケ」を採りながら行く。ブナの倒木の下側に生えており、登りだと下から見るので気付けたようです。加藤さんの食卓の一品になったことでしょう。万仏岩手前の岩

峰で最後の展望を楽しみ、一気に下山。



ブナハリタケ



マユミ

下山後、切明温泉に入浴。河原には自然温泉が湧き手掘りで楽しめる请加藤さんから聞く。宿の露天風呂も自然の中にあり、とても良い！「いつか温泉だけを楽しみに来てもよいな～」

紅葉も温泉も最高の2日間を過ごせたことを、メンバーに感謝します。